

● 技術の概要

てい・ぴー じょいんと

T・P JOINTは、既製コンクリート杭に用いる機械式継手です。本継手は、図1に示すように、予め杭本体に取り付けられた端板と側板、ならびに、接続プレート、接続ボルト、接続ワッシャー、ガイドピンから構成されます。

図2に示すように、下杭と上杭それぞれの接合面外周部分の凸型突起と、接続プレートの凹型を嵌合します。側板には、接続プレートのボルト孔に対応したネジ孔が設けられており、接続プレートは、杭の円周方向に三分割の構造で、側板のネジ孔に接続ボルトで締め付けることにより上下杭が一体化するようになっております。なお、ガイドピンは、杭の位置合わせに使用します。

本継手は従来の溶接による継手と比べ、特殊な技能や設備を要しないので杭の接続時において品質管理が容易です。また、気象条件（雨、風、気温等）の影響も受けにくく、施工時間を短縮することができます。

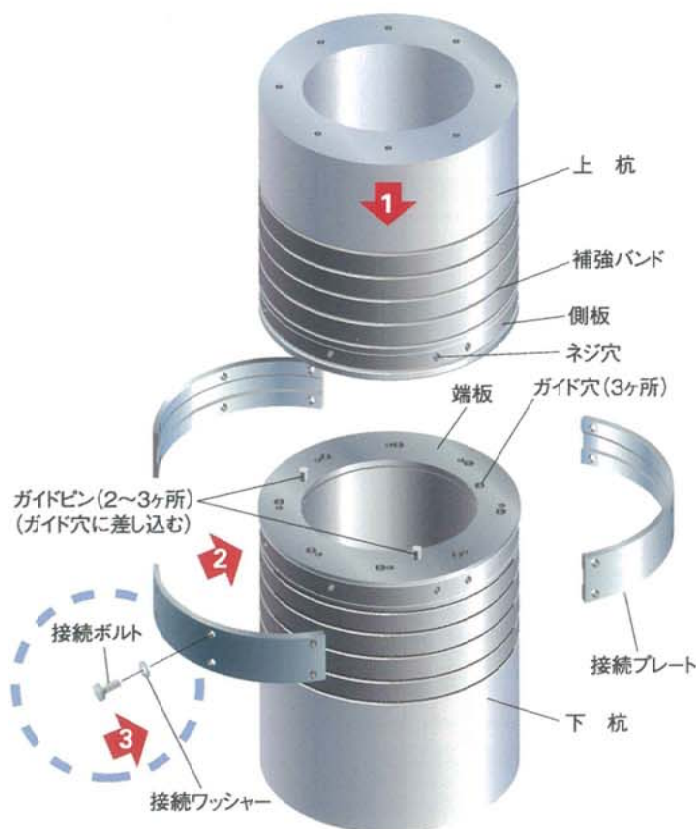


図1 T・P JOINTの概要図

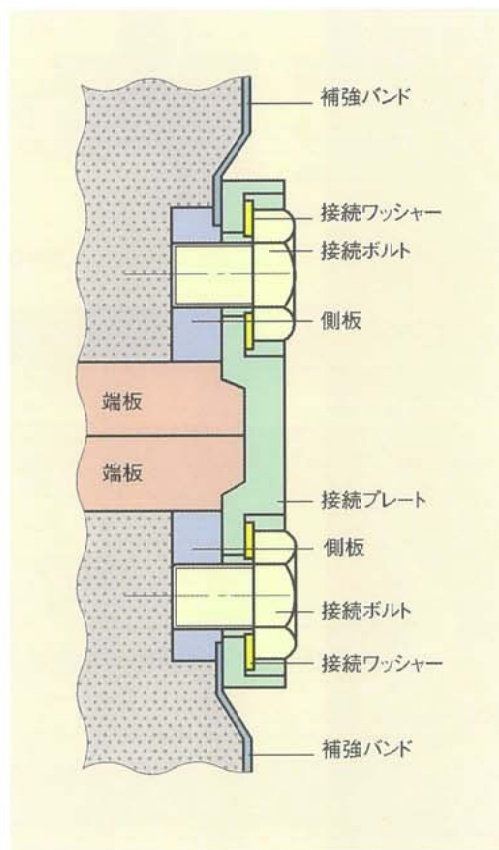


図2 嵌合部の縦断面図

● 審査証明の範囲

(1) 対象

杭種：既製コンクリート杭（PHC杭、SC杭）

杭径：300～1200mm

PHC杭+PHC杭の場合 300～1200mm

PHC杭+SC杭の場合 300～1200mm

SC杭+SC杭の場合 355.6～1200mm

SC杭+SC杭（タイプS）の場合 318.5～1000mm

※タイプSは、SC杭+SC杭における継手の仕様を変更し、適用最大鋼管厚を厚くしたものです。

コンクリートの設計基準強度：80N/mm²以上

(2) 適用工法

プレボーリング杭工法（ただし、杭頭には使用しないものとします。）